

衝撃工学フォーラム

第2回 衝撃工学フォーラム –初心者のための衝撃工学入門–

日時：2003年11月15日(土)

場所：東京工業大学大岡山キャンパス

主催：日本材料学会衝撃部門委員会

共催：日本塑性加工学会高エネルギー速度加工分科会

プログラム

- | | | |
|-----------------|-----------|-------|
| 1. 応力波伝播の基礎 | 摂南大学 | 黒川 知明 |
| 2. 衝撃破壊力学の基礎と応用 | 神戸大学 | 藤本 岳洋 |
| 3. 衝撃試験法と構成則 | 岡山理科大学 | 横山 隆 |
| 4. 複合材料の損傷と評価法 | 東京工業大学 | 足立 忠晴 |
| 5. 衝撃超高压と衝撃合成 | 物質・材料研究機構 | 関根 利守 |
| 6. 爆発加工と材料特性 | 崇城大学 | 藤田 昌大 |

第3回 衝撃工学フォーラム –初心者のための衝撃工学入門–

日時：2004年11月27日(土)

場所：法政大学小金井校舎 マルチメディアホール

プログラム

- | | | |
|----------------|----------|-------|
| 1. 応力波伝播の基礎 | 摂南大学 | 黒川 知明 |
| 2. 衝撃破壊の基礎 | 東京大学 | 塩谷 義 |
| 3. 衝撃変形と構成式 | 大阪府立大学 | 三村 耕司 |
| 4. 衝撃試験法の基礎と実際 | 岡山理科大学 | 横山 隆 |
| 5. 複合材料の衝撃特性 | 立命館大学 | 日下 貴之 |
| 6. 衝撃問題と数値計算法 | コスモスジャパン | 今木 敏雄 |

第4回 衝撃工学フォーラム –初心者のための衝撃工学入門–

期日：2005年11月25日(金)

会場：東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念会館

主催：日本材料学会衝撃部門委員会

趣旨：

本年4月25日に発生したJR福知山線の脱線事故に見られるように、高速輸送機械が生活基盤の重要な部分を占めている現代において、輸送機械の衝突による人的物的被害は甚大である。一方、衝撃力を積極的に利用した新素材の創生や慣用材料の新加工法も今後大いに期待されている。このように、社会生活上の安全性と豊かさを確保する上からも、衝撃問題に対する工学的なアプローチを習熟することは極めて重要であると考えられる。日本材料学会衝撃部門委員会は、設立以来、二十年にわたって様々な観点から衝撃問題に取り組んできた。今年も、多くの研究者、技術者に衝撃問題解決へのアプローチ方法を提供することを目的とした公開フォーラムを開催することとなった。衝撃問題

の特に重要と思われる分野について専門家による解説と、実際問題への適用例について、テキストとパワーポイントを使用して紹介する予定である。

プログラム

1. 応力波伝播の基礎 摂南大学 黒川 知明
2. 衝撃試験法の基礎と実際 京都大学 小川 欽也
3. 衝撃変形と構成式 大阪府立大学 三村 耕司
4. 衝撃破壊じん性とその評価法 立命館大学 日下 貴之
5. 衝撃問題と数値計算法 (株)コスモスジャパン 今木 敏雄
6. 衝撃解析と計算コード 東京工業大学 萩原 一郎

第5回 衝撃工学フォーラム –初心者のための衝撃工学入門–

日 時：2006年11月24日(金)

場 所：東京理科大学神楽坂キャンパス 森戸記念館

プログラム

- | | | |
|-----------------|--------------|-------|
| 1. 応力波伝播の基礎 | 摂南大学 | 黒川 知明 |
| 2. 衝撃試験法の基礎と実際 | 京都大学 | 小川 欽也 |
| 3. 衝撃変形と構成式 | 大阪府立大学 | 三村 耕司 |
| 4. 衝撃破壊靱性とその評価法 | 立命館大学 | 日下 貴之 |
| 5. 衝撃問題と数値計算法 | 日本総研ソリューションズ | 戸倉 直 |
| 6. 数値解析と計算コード | 東京工業大学 | 萩原 一郎 |

第6回 衝撃工学フォーラム –初心者のための衝撃工学入門–

日 時：2007年11月16日(金)

場 所：東京理科大学神楽坂キャンパス 森戸記念館

プログラム

1. 応力波伝播の基礎 摂南大学 黒川 知明
2. 衝撃変形と構成式 大阪府立大学 三村 耕司
3. 衝撃試験法の基礎と実際 京都大学 小川 欽也
4. 衝撃破壊じん性とその評価法 立命館大学 日下 貴之